

平成25年度再評価対象事業一覧表 (再評価実施後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)  
 (対象：平成20年度再評価実施事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業継続)
	再評価時点	海岸保全事業 大詫間地区  事業主体：県 事業地：佐賀市	海岸堤防を補強し背後農地・農業用施設はもとより、住民の生命・財産を津波や高潮から防護し国土の保全と民生の安定に資する。	全体事業費：C=47.8億円 工期：S48~H42 延長：2,387m 計画堤防高：T.P+7.50m 主要工事： 堤防工L=2,387m 消波工L=2,387m 樋管工N=1箇所	(H19末進捗率 50.0%) (年平均進捗率 1.4%)  正面堤区間については、計画高迄約50%完成しており、盛土工事と波返しを設置を行っている。 側面堤区間については、計画高迄達してはいない。	(地域の状況) 背後地の人口、戸数に大きな変化はなく、農地については、ほ場整備事業等が完了し、農業生産基盤が強化された。 重要な公共施設についても大きな変化はない。  (過去の災害実績) S60.8 台風13号による堤体被災L=1,453m	現在 B/C=3.33  (H25の算定方式で実施した場合は、B/C=4.20となる。)	堤体盛土工事において、建設発生土の利用促進を行う等によりコスト削減を図る。	再評価実施後5年 が経過	継続
	現時点	同上	同上	同上	(H24末進捗率 58.6%) (年平均進捗率 1.8%)  正面堤区間については、計画高迄約81%完成している。 側面堤区間の堤防嵩上げを実施しており、盛土工事及び地盤改良工事を実施している。	(地域の状況)  変化無し  (過去の災害実績)  同上	最新のマニュアルに基づき費用対効果を算出。 B/C=4.40	・再生材の積極的 利用に努める。 ・建設副産物の有効 利用に努める。	同上	整備対象の 海岸堤防は、有 明海の軟弱地 盤上に干拓事 業により造築 されており、不 等沈下による 亀裂発生等、脆 弱化が著しく 高潮の被害に さらされている。 また、背後農 地では台風や 冬期波浪によ る越波被害が 発生している 状況にある。 このため、本 事業による堤 防補強を実施 しているところ であり、平成 24年度迄に事 業費の59%が 完了している。 高潮等からの 被害防止を 図り、地域住民 の安全・安心を 確保するため 事業の継続は 必要である。
	理由等				・計画的な事業実施により、計画どおりに進捗		農作物単価(麦、大豆)がH20再評価時と比べ増加した。 (麦)H20:90,600→H25:130,000 (大豆) H20:184,000→H25:288,000 農地被害額(ほ場整備復旧費)について、過去の事業費単価が現在価値化により増額したため、費用便益(B)が増額した。 S53事業費→H20換算(4.473) S53事業費→H25換算(5.684)			

